

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福法法人光風会	代表者	阿部與士男	法人・事業所の 特徴	法人として多様なサービスを提供しており、当事業所は、ご利用者様が住み慣れた地域、自宅で可能な限り暮らし続けられるような生活の支援を目的として、通い、宿泊、訪問サービスを柔軟に組み合わせさせてサービスを提供します。
事業所名	小規模多機能ふよう	管理者	遠田美邦		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	3 人	人	人	1 人	人	4 人	人	9 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価でできた改善計画を達成できるように、職員会議で確認する。	職員会議で確認の他、研修を行ったり、人事考課の個人目標にもあげ目標達成できるように取り組み実施できた。	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の結果から良く施設運営を行いたい意志がみえる。「できない点」の記入も正直に書いてある部分もあるので意志を統一して頂きたい。 ・利用者の為に何を行えば良いか考えているところが良いと思います。 ・毎月内部研修を行い、スキルアップに繋がっている姿勢がうかがえる。 ・情報の共有と収集を行いながら職員間で利用者の把握を行うと意見が多く、達成可能な経過になっていると思う。 	自己評価で作成した改善計画を達成できるように確認表を作成し、個人での取り組みの確認と職員会議で全体の確認をしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	接遇についての研修を行い、場所や相手に応じた適切な言葉使いや接する姿勢等を定期的に確認、見直しを継続して実施する。	接遇の内部研修を行い、挨拶、言葉使い、接する姿勢等を見直し、身だしなみチェックを毎月行った。また、職員会議でも気を付けるように毎回話しをして確認を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所に訪問させてもらう度に、スリッパの除菌や消臭対策がされており、日頃の生活臭がないように取り組まれていると感じる。 ・前回よりは、だいぶ利用しやすくなったと思います。 ・家族との関係作りは時間がかかることもあるが、努力している姿勢が見られた。 ・職員間、利用者への声掛け方を区別して対応されていると思う。 ・事業所に入った瞬間から職員の対応がとても感じが良く気持ちが良かったです。 	接遇の内部研修、身だしなみチェック等を継続し確認する。また、事業所内外の環境、美化整備を計画に沿って実施する。
C. 事業所と地域のかかわり	ふようの季刊誌の継続、ポスターの内容、掲示する場所を見直し、知って理解してもらう機会を増やす。	2か月毎にふようの季刊誌を発行し、町内に回覧、地域のスーパーやコミセン、床屋、大学にも配布し知ってもらう機会をもった。また、ふよう祭りのポスターは自治会長様宅前や、地域の掲示板に掲示させてもらったことや、ふようのポスターの内容を検討して掲示したことで情報発信ができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも、あいさつをしていただきと、とても入りやすい事業所だと感じる。 ・スタッフが限られている中で、地域との関わりがもてるように調整していく努力が感じられる。 ・宮野浦三丁目に敷地内にある事業所ですので、私達に協力できることがあれば、したいと思っております。 	ふようを知ってもらう為、季刊誌回覧、事業所や町内の掲示板を使用させて頂き、ポスターの掲示を継続する。また、地域共生事業として地域の方と交流できること検討し実施する。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域行事や情報を収集して参加し、また、新しい活動にも参加する機会を作る。	地域の運動会、文化祭には参加し、今年度は地域の祭り行列に参加したり、事業所の駐車場での見学時も、地域の知合いの人が声を掛けてくれたりと地域の方々と交流ができた。また、光風会のみやのうら夏祭りでも、同様に地域の方と話しをしたりと交流できた。新しい行事等への参加はなかったが、出来る限りの外出を行い、地域との関わりをもつことができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・かわみなみワーキングチームにも参加をいただき、地域の困り事についても一緒に活動をして改善を図ったりと協力をいただきありがたい。 ・地域の保育園や中学生との交流事業など、地域の実情にあった内容で取り組んでいると思う。 ・広報にも地域行事や交流も盛んであり利用者も笑顔な方が多いと感じる。 	地域行事への参加の他、日常生活の中で散歩などを通して地域に出る機会を作る。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で、地域の情報を聞く機会を作り、情報を共有し、協力できることはないか検討を行う。また、地域の情報把握として回覧内容を活用する。	運営推進会議でふよふの活動内容や状況を伝え、委員の皆様からは地域の情報等を聞くことができた。また、災害時や介護サービス、相談等、可能ことなど地域の中で必要時には協力できることを伝えた。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、事業所の取り組みをビデオにしてくれる為、どのような行事があって参加したのかわかりやすい。 ・感染症予防に関しては、法人の専門職を活用し対策に取り組んでいる姿勢がみられる。 ・地域包括支援センターのワーキングチームへ参加いただき地域への認知症高齢者に対する啓発活動に協力していただきありがたかった。 ・これからも運営推進会議での意見をすくいあげて事業を計画して下さい。 	運営推進会議で事業所の活動内容や季節に合わせた情報発信を行う。また、地域の情報を聞かせてもらい協力できること伝え検討していく。
F. 事業所の防災・災害対策	事業所の避難訓練の状況や避難計画を運営推進会議で報告をしていく。避難訓練に地域の方に参加して頂き、状況を確認する。	避難訓練の実施内容、避難方法等を、避難訓練後に毎回、写真や、図で報告した。また、大雨による河川の氾濫危険等で避難することもあったが日頃の訓練もありスムーズにできた。	<ul style="list-style-type: none"> ・台風が多い今年は水害の話題が多く、ふよさんでも運営推進会議で対応されたことも聞いているので、緊急時は頼りになると感じる。 ・日頃から防災訓練を行っていた為に、8月の水害の時もスムーズに対策できたと運営推進会議で報告あり。地域防災訓練にも積極的に参加している姿勢がみられる。 ・前回の運営推進会議でも水害による避難や、今回の運営推進会議でも訓練はされており、徹底されていると感じる。 ・これからも、防災、災害対策を地域の方と協力して取り組んで下さい。 ・利用者の安全の為に色々な訓練を実施されている。感心しています。 	定期的な避難訓練を実施し、状況や避難計画を運営推進会議で報告をしていく。避難訓練に地域の方に参加して頂き、状況を確認していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 17 日 (19 : 00 ~ 20 : 00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 管理者・計画作成担当者・ケアワーカー・看護師

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？					

前回の改善計画	なし
---------	----

前回の改善計画に対する取組み結果	
------------------	--

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	8人	2人			10人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	9人	1人			10人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	8人	2人			10人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	6人	4人			10人

できている点	利用前に面接を行い状態を確認し、その都度職員に伝え情報を共有し、本人、家族の要望を聞き取りを行い希望のサービスを提供している。利用開始時には笑顔での対応を心掛け、多めの声掛け、傾聴を行い不安がないように努めている。
--------	---

できていない点	利用者を支える為の関係づくりは行えているが、家族との関係づくりで難しいと思われることがあった。新規の利用者に対して積極的に関わる姿勢が十分にもっていなかったり、業務に追われて声掛けが足りなかったと感じることがあった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	家族との関係づくりでは、面会時や送迎時には日頃の様子、出来事や体調面についてなど、何か一つでも伝え、会話をする機会をもち、話しやすい雰囲気作りを行う。また、利用者には各職員が1日1回は声を掛け、会話することを心掛け、業務中心にならないようにし業務については随時見直しを行う。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10月 17日 (19 : 00 ~ 20 : 00)

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

メンバー 管理者、計画作成担当者、ケワーカー、看護師

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	3人	1人		10人

前回の改善計画

利用者が意欲をもって目標に向えるように支援し、毎月の職員会議で担当職員より目標、状況を報告してもらうことで把握し、次の対応、振り返りに活かしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

毎月の職員会議で利用者の状況を報告、確認、振り返りをした以外にも普段の関わりの中で気づいたことは他職員にも伝え、目標に向えるように努めた。また、意欲を持てるように、脳トレーニングや個別のリハビリは、「できた」と達成感をもてるように個々にメニューを考え提供した。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1人	9人			10人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3人	7人			10人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2人	8人			10人
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	5人	5人			10人

できている点

毎月の職員会議やカンファレンスの回覧、連絡ノートの活用、モニタリングで確認し、必要時は見直しできている。

できていない点

利用者全員分の、目標の細かいところまでの把握が十分にできていない。

次回までの具体的な改善計画

利用時にケアプラン実施チェックを行っている為、目標も毎回確認をしていく。また、職員会議でも定期的に把握の状況を確認していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 10 月 17 日 (19 : 00 ~ 20 : 00)
3. 日常生活の支援	メンバー	管理者、計画作成担当者、ケワーカー、看護師

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	9人	1人			10人

前回の改善計画

可能な限り情報把握に努め、得た情報は職員会議やカンファレンス、個々のアセスメント確認を再度行い情報共有していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者本人や家族に可能な範囲で聞き取りを行い、情報は職員会議やカンファレンスで共有した。また、各担当が情報収集した内容を表にして回覧したことでより把握できた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10 個以上把握できていますか？	6人	4人			10人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	9人	1人			10人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	4人	6人			10人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	8人	2人			10人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	7人	3人			10人

できている点

本人や家族より生活環境を聞き取りしており、気づきの目を心掛け状況や体調の変化を観察し、その都度迅速に細かく対応している。また、個別のケース記録や連絡ノート、毎月の職員会議で情報の共有をしている。

できていない点

本人の気持ちや体調の変化に即時的にできない時があると感じる職員がいる。

次回までの具体的な改善計画

利用者の状態等に変化があった際は、全員で情報を共有する為に、個人の対応記録に入力、職員間の連絡ノートへの記入、口頭でも伝えることは継続し、対応できていないと感じる職員には声を掛け状況を把握してもらい対応できるように協力し合う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 17 日 (19 : 00 ~ 20 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 管理者、計画作成担当者、ケワーカー、看護師

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	5人	5人			10人

前回の改善計画

地域の民生委員の一覧を綴じてあるファイルがあり、必要時活用できるように職員間で周知する。

前回の改善計画に対する取り組み結果

地域の民生委員の一覧を綴じてあるファイルがある場所は職員会議で確認しているが、実際の活用に関わるケースは殆どなかったが、いつでも活用できるようにはしていた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	7人	3人			10人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	3人	7人			10人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	4人	6人			10人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	3人	7人			10人

できている点

地域資源については以前研修を行ったことで把握できていたり、活用した時にはケアプランチェック表に記入している。本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等については情報収集して書き出した表を職員全員で回覧し共有している。運営推進会議で地域の資源についての情報を交換している。

できていない点

事業所が接していない時間に、本人がどのように過ごしているかは、聞き取りをしてわかる範囲は情報共有しているが十分ではない。

次回までの具体的な改善計画

生活スタイル・人間関係等については情報収集して書き出し表にしているのを活用し、更に情報収集を行う為、面会時や送迎時等に家族や親類、知人等に話を聞き、まとめ回覧し共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 10 月 17 日 (19 : 00 ~ 20 : 00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	管理者、計画作成担当者、ケワーカー、看護師

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	5人	5人			10人

前回の改善計画	利用者の地域や事業所の地域の資源の情報を収集し、可能な限り関わりをもてるように支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源については研修を行い何が出来るかを学んだ。利用者の地域資源で活用できた人もいたが、殆どが地域での活用が難しいところがあった為、事業所だけにしないように事業所の地域の資源を活用し、関わりをもつように支援した。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	4人	6人			10人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	8人	2人			10人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	8人	2人			10人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	7人	3人			10人

できている点	ボランティアの訪問の調整をしたり、地域と関わりをもてるように情報を収集し行事等に参加している。「通い」「訪問」「宿泊」がニーズに応じて柔軟に提供できている。利用者の「変化」に気づきの目をもち、個別のケース記録や連絡ノート、毎月の職員会議で情報の共有をしている。
--------	--

できていない点	
---------	--

次回までの具体的な改善計画	
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 17 日 (19 : 00 ~ 20 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 管理者、計画作成担当者、ケワーカー、看護師

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	8人	2人			10人

前回の改善計画

少しずつではあるが、訪れる人もいるので季刊誌やポスターを継続し、「ふよう祭り」を実施して参加、理解してもらえる機会を作っていく。また、職員全員が事業所の行っている内容を理解できる様に、職員会議や、資料や会議録等の回覧、説明を行い、確認をしていく。

前回の改善計画に対する取り組み結果

季刊誌は継続して発行し地域に回覧してもらったり、ポスターを掲示することで相談に来る人がいたり、少しずつではあるが、事業所を知って、活用してもらえている。「ふよう祭り」についても、自治会長様の協力もあり、祭りのポスターを多く掲示してもらったことで昨年とは違う地域のお客様が参加して話をする機会ができた。また、毎月の職員会議や、事業所が行っていること、しなくてはいけないことや知識なども研修を行い理解、周知を行った。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	10人				10人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		10人			10人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	6人	4人			10人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	10人				10人

できている点

担当者会議で多職種で話し合いをしている。また、地域包括支援センターかわみなみ主催の「かわみなみワーキングチームの会」や「ケママネかふえ」等に参加し地域での情報交換や活動を行っている。また、地域の行事として地域の祭り、体育まつり、文化祭、避難訓練に参加している。季刊誌回覧やポスター掲示することで登録外の地域住民が相談にきたり、子供達が遊びに来てくれたりすることが増えた。

できていない点

次回までの具体的な改善計画

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 17 日 (19 : 00 ~ 20 : 00)

7. 運営

メンバー 管理者、計画作成担当者、クワーカー、看護師

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？					10人

前回の改善計画

なし

前回の改善計画に対する取組み結果

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	5人	5人			10人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	6人	4人			10人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	6人	4人			10人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	3人	7人			10人

できている点

毎月の職員会議で意見交換を行っている。利用者や家族から苦情はないが、顔を合わせた際には情報交換を行い必要時には迅速に改善するようにしている。また、家族には満足度アンケートを行い意見等をすくい上げて反映に繋げている。また、運営推進会議や地域の方からの意見で気づかせていただき反映させたところで事業所としてもプラスになった。地域の避難訓練に参加したりふよの避難訓練には消防団の方から参加していただき状況を確認してもらったり運営推進会議で活動報告等を通してふよのできることを伝え協力体制があることや、協力していただきたいことを伝えている。

できていない点

次回までの具体的な改善計画

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 17 日 (19 : 00 ~ 20 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 管理者、計画作成担当者、ケワーカー、看護師

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	4人			10人

前回の改善計画

リスクマネジメントについて、法人グループのリスクマネジメント検討委員会で出した当事業所の事故やひやりハットの統計や傾向を対策に活用し取り組んでいく。また、リスクマネジメントについての確認を行う。

前回の改善計画に対する取り組み結果

リスクマネジメントについて、法人グループのリスクマネジメント検討委員会で出した当事業所の事故やひやりハットの統計や傾向の対策を回覧し、居室内の事故が多かった為、居室を整理整頓やベットやタンスの配置を状況に合わせて変えたり、リスクマネジメントについてもその都度確認した。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	9人	1人			10人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	8人	2人			10人
③	地域連絡会に参加していますか	1人	9人			10人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4人	6人			10人

できている点

毎月の内部研修を行い、年間の計画内容の研修や状況に合わせた内容の研修を行っている。法人での研修や施設外での研修にも参加しスキルアップに繋げている。また、「かわみなみワーキングチームの会」に参加し情報交換している。リスクマネジメントについては法人グループのリスクマネジメント検討委員会で出したふようの事故やひやりハットの統計や傾向やその都度要因分析を行い迅速に対策、改善に取り組んでいる。

できていない点

次回までの具体的な改善計画

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10月 17日 (19 : 00 ~ 20 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 管理者、計画作成担当者、ケワーカー、看護師

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	なんとかできている	あまりできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？					10人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10				10人
②	虐待は行われていない	10				10人
③	プライバシーが守られている	5	5			10人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10				10人
⑤	適正な個人情報の管理ができています	9	1			10人

できている点	
身体拘束や虐待についての研修の実施や職員会議や対応についてその都度確認している為行われていない。プライバシーについても居室やトイレ浴室等の使用中の戸の開けっ放しや個人情報の書類等は事務所内に保管や他者に見えないようにしている。成年後見制度を利用時から活用している方がいるが、活用を勧めてみたこともあった。	

できていない点	
利用者のいる所で情報交換をしてしまうことがある。	

次回までの具体的な改善計画	
情報交換について、事務所内や利用者が気にならない場所で行い、現状で出来ているかを毎月の職員会議で確認する。	